

総合特別区域の進捗に係る評価
[ライフ・イノベーション分野]

令和3年度

群馬がん治療技術地域活性化総合特区

[指定：平成25年9月、認定：平成25年11月]

I 目標に向けた取組の進捗に関する評価

i) + ii) の平均値 $(4.5+4.5)/2=4.5$

4.5

i) 取組の進捗

目標値に対する実績に基づく進捗度(当年度実績)

番号	評価指標	進捗度	評点
1	重粒子線治療技術の難治がんへの応用	67%	3
2	医療・ヘルスケア産業振興	176%	5
3	医療系人材の育成	200%	5
4	事業化人材の育成	159%	5

評価指標毎の進捗の評価の平均値 $(5 \times 3 + 4 \times 0 + 3 \times 1 + 2 \times 0 + 1 \times 0) / 4 = 4.5$

4.5

※1) 1つの評価指標に複数の数値目標がある場合は、各数値目標の評価を寄与度に応じて加重平均する。
(例) 評価指標1について、a、b、cという3つの数値目標があり、各数値目標の評点・寄与度がa:5・20%、b:4・10%、c:3・70%の場合、 $5 \times 0.2 + 4 \times 0.1 + 3 \times 0.7 = 3.5$ で、四捨五入して評価指標1の評価は「4」となる。

※2) 評価指標2は複数の数値目標があり、※1のとおり各数値目標の評価を寄与度に応じて加重平均しているため、進捗度と評点が一致しない。

■ 地方公共団体による特記事項

※外部要因による数値への大幅な影響等があれば記載

ii) 取組の方向性に対する評価

専門家による評価の平均値

4.5

II 支援措置の活用と地域独自の取組の状況に関する評価

i)、ii)、iii) の平均値 $(3+4+3.4)/3=3.5$

3.5

i) 規制の特例措置を活用した事業等の評価

専門家による評価の平均値

3.0

ii) 財政・税制・金融支援の活用実績の評価

専門家による評価の平均値

4.0

iii) 地域独自の取組の状況の評価

専門家による評価の平均値

3.4

Ⅲ 取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決に関する評価

(専門家所見(主なもの))

4.0

- ・重粒子線治療を中核とし、技術開発から人材育成まで幅広く独自の展開が見られる点が評価できる。
- ・医療コーディネーターの活用で成果を挙げている点が評価できる。
- ・医療分野の研究開発に関する事業化支援の参加者数が増加し、医療機器製造登録事業所数等が増えていることについては評価できる。
- ・産業振興のアウトプット指標は商談、共同研究、試作品開発、上市と開発のすべてのフェーズを総合した指標となっており、それぞれのフェーズごとの結果も報告していただきたい。
- ・治療症例数以外の主たる指標において、大幅な達成状況にある点を評価したい。地域独自の財政支援も大幅に増加させており、達成の下支えとみることできる。
- ・最も重要と考えられる重粒子線の治療開発における進捗不良に大きな懸念を抱く。コロナ感染症が主たる理由に掲げられているが、大学病院などでは、コロナ感染症への受け入れと並行して、がん診療などの重要な疾病への対応は一定以上維持されているはずである。その中で実績2例というのは、研究開発計画の根本的見直しが必要と考える。
- ・重粒子線治療実施症例数(数値目標(1))に関しては、その後の計画を考えると、令和4年度の登録終了は必須である。そのための対策に期待したい。
- ・マッチング・医療関連製品サービス開発件数(数値目標(2)－②)では、成立した商談の数、共同研究の数、試作品開発件数、上市件数、競争的資金の獲得件数がカウントされているが、それぞれの難易度は同じでない。合計の件数は高い達成度であることから、その内訳の情報共有にも期待したい。

専門家による評価(専門家の総合的な所見)の平均値

4.0

総合評価

I、II及びⅢを1:1:2の比率で計算 $(4.5+3.5+4 \times 2) \div 4 = 4$

4.0

(注)評価に係る評点及び表記の考え方については以下のとおり。

- ・評価は5～1(評点)で行う。
- ・進捗度は、100%以上を5、80%以上100%未満を4、60%以上80%未満を3、40%以上60%未満を2、40%未満を1とする。
- ・進捗度以外の評価項目における評点は、5:著しく優れている、4:十分に優れている、3:適当である、2:適当であると認めるには不十分である、1:適当であると認められないとする。